

# 第3回「弘前市のまちづくりを考えよう」 市民会議(ワークショップ)の進め方

## 1 第3回ワークショップの目的

◆第2回のワークショップで出た意見を振り返り、市長と意見交換を行う。

## 2 本日のプログラム

タイムテーブル (予定)	内 容	備考
10時00分 ～10時05分	開会	
	1 本日のプログラムの進め方について	事務局からご説明します
10時05分 ～11時55分	<b>&lt;全体会議&gt;</b> 2 これまでのワークショップでの検討結果を、テーマごとに市長、各委員で意見交換します。	事務局（富士通総研）が進行し意見交換します。
11時55分 ～12時00分	閉会	事務局からご説明します
	3 次回の日程とテーマの説明	

## 3 第3回目のワークショップの具体的な進め方

※今回は、グループに分かれず、全体会議で意見交換を進めます。

1) これまでのワークショップでだされた「弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿（将来像）」について、事務局（富士通総研）の進行により、テーマごとに市長、各委員で意見交換を行い、一定の方向性ごとにまとめます。

以上、本日の予定

## 4 円滑な運営に向けた基本ルール

参加メンバーの活発な議論を促し、より実りの多い会議とするための基本ルールを、次のように定めます。これらのルールを守っていただき、有意義な話し合いを進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

### \*\*\* 円滑な運営に向けた会議の基本ルール \*\*\*

- ①メンバー全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- ②各メンバーの発言を尊重し、はじめから否定することのないよう配慮しましょう。  
また、メンバーの話しを遮るような発言は慎み、円滑な会議進行に努めましょう。
- ③限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- ④特定の個人や団体などのひぼう中傷につながる発言はやめましょう。
- ⑤全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- ⑥意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。
- ⑦いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。
- ⑧会議の内容の取扱いについては、十分に注意しましょう。(ブログへの不適切な書き込みなど)
- ⑨個人情報については、保護の重要性を十分認識し、メンバーの利益を害することのないよう努めましょう。



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「ひと」

	将来都市像	理由・背景	
A グループ	出会い・交流・助け合いのまち	ボランティア精神あふれる人を育むまち	個々の気持ちをつなぎ合わせるシステムが欲しい(鬼澤地区:竜巻被害に遭われた方々のお手伝いをしたいけれど、どうしたら良いのかと聞いたことがあります)
	多様な世代が生涯にわたってそれぞれの価値を発揮できるまち	ひとをつくるまち	出会いや交流を大切にする
		各世代が能力を発揮できるまち	世代別の能力を連携させながら人材を育成する
		市民が一生現役なまち	リタイヤしても、知識や経験を活かしたい
	思いやり、明るいあいさつがあふれるまち	思いやりがあふれるまち 明るい挨拶が飛び交うまち	住民同士だけでなく、観光客にまで思いやりで接してほしい 家庭、学校、職場、地域、観光客の方に気軽に明るい挨拶ができるまちにしたい。元気な観光地は挨拶と笑顔が素晴らしいと感じました
弘前への誇り・愛を持てるまち	住んでいるまちに誇りをもてるまち 弘前愛にあふれるまち	まちの魅力を他県の人に伝えて欲しい 老いも若きも弘前が大好きであり、弘前を語らせると誰よりも上手に表現・コミュニケーションで伝達して欲しい	
B グループ	志高く、自ら考え行動し、はつらつと生きるまち	忘れかけた人間道徳、人間常識、教育、交流のあるまち	古き良き日本、隣近所や親類助け合い
		市民の苦情などを待つのではなく求め探すまち	市民の不満などを積極的に改善することによって、より住みやすいまちになる
		各分野にリーダー的存在があるまち	市民一人ひとりが行動をおこすために引っ張ってくれる
		全ての人々が目的と生きがいを持ったまち	全ての年代ではつらつと充実した人生
		活力あるまち	高齢になっても元気なように幼少期からの生活習慣病等の教育(食育運動)が必要
	若い人が活躍できるまち	働く場があることで若者の流出を防ぐ	
開かれた学園都市	学園都市復活のまち 大学が視える化しているまち 子供が気軽に大学に遊びに来れるまち	学問に限らず色入な分野で世界に通用する 大学で何が研究され市民に認知されているか 大学で子供向けの実験などふれあえる	
C グループ	子どもが健やかに育ち、元気な笑顔であふれるまち	子どもたち(特に高校生)の人権が守られ、心豊かで健やかに成長できるまち	大人が自分自身を振り返り、子どもたちのモデルとして恥ずかしくないよう行動し、子どもたちに向き合う時の真剣さや子どもたちをいつも見守り認める 大人が変われば子どもも変わる
		子ども(小中)が元気で笑顔あふれるまち	特に夏休みにひまをもてあまして多くの子どもが多い。集団体験の場を...
		子ども・高齢者を守る	どちらにも属さない中間層の自立性・行動性の発達求められる
	市民一人ひとりがそれぞれの役割を発揮し、互いに助け合うまち	子育てするなら弘前	岩木山、伝統文化...
		市民が理解と尊敬をもって互いに助け合えるまち	様々な年齢や立場の人たちの考え方を自分のものと同じように尊重できるよう、色々な世代の人との交流の機会を増やし社会との関わりをもち社会性を育てる
		住民同士が支え合える心の余裕がある	若者が仕事をしながらでも、町会や地域のイベントに関わられたらなあ
		地域コミュニティが充実しているまち	高齢者世帯、一人暮らしの方でも安心して暮らせるよう
市民一人ひとりの役割が発揮できるまち	子どもも大人もしょうがいのある人や高齢者など、仕事や生きがいを持てる時間や場所があればいいなあ		
スペシャリストが育つまち	スペシャリストが育つまち	ハイレベルな人材(職人技) プライドや職人氣質が高い人が多い弘前だからこそ	



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「ひと」

将来都市像		理由・背景
D グ ル ー プ	子ども達が大きく成長できるまち 幼保小中高大など教育機関が連携する 日本、世界で通用する弘前人のいるまち 学園都市弘前といわれる(生活水準の高い)まち	心豊かに成長し、生きる力を発揮する 地元愛の一貫教育 川口淳一郎博士、三浦雄一郎氏、それを見る子どもたちが眩しい 今までの弘前の良いところを発展させたい(研究機関)
	自分の考えははっきり発言、人の話は しっかり聞けるまち 「夢」でではなく実現可能な目標を持つ人 が住むまち プロ意識の高いまち(東京流じゃなく弘前 流) 自立できるまち 活発で市民一人ひとりが盛り上がるまち	昔は「津軽の足引っ張り」そんな話があったと笑い話がしたい 志をもった人が住みたい!と思うまちだといいなあ 全ての職業は誰かの役に立っている なんでも行政等に任せっぱなしでなく、自立できる市民 若者から高齢者まで誰でも楽しめるように 今の子どもは、親や周りが何でも世話をし過ぎる傾向がある。自分で考え判断し、行動できる ように育てる必要があるのでは?(ただし一方で、親が忙しすぎて子どもを構えない状況 の家庭も)
	自信と愛着の持てるまち 歴史・文化の伝承ができる 地域にはおんべ様がいるので、伝承を受 けるまち 人生の先輩の知識・知恵をもらって育て るまち	弘前の文化・歴史が好きな市民を作る 子どもたちに文化・歴史を伝承できるひとづくり 日本人らしく、私、…現代的なものを含める 超高齢化に向けてお互いに引き継ぎたい
	郷土への愛と、歴史・文化を 受け継ぐまち	
	横のつながり・連携ができる まち	市だけでなく一人ひとり市民が活動できるように、またそれをまとめていく人が必要



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「暮らし」

	将来都市像	理由・背景	
A グループ	子育て家庭や高齢者が安心して暮らせるまち	子育てや高齢者が安心して暮らせるまち お互いが交流できる環境づくりが必要	
	いつまでも元気で暮らせるまち	高齢者が元気なまち 20年後の高齢化率は今より高くなり、3人に1人が高齢者である 市民が健康で長生きなまち 青森県は男女とも平均年齢が短いため、産業、医学等を活用したい	
	若者が活躍し、安心して子育てができるまち	元気な若者が仕事をし生活できるまち せっかく良い大学があり元気な若者が多い町なのに、活躍できる企業が少ないため他県へ流出している。やる気のある若者が安心して生活できるよう魅力ある企業、働く場を増やしたい	
	伝統と魅力のある祭り・音楽などが織りなすまち	結婚し子を育てるのにベストなまち	20~30代の方が弘前市に戻って子育てをしてほしい
		祭りが賑やかなまち	伝統にこだわる&時代に合わせる=共生できる
		規範意識の高いねふた祭りを魅せるまち	品のない服装やメイク、楽器を持たない囃子には注意を促し、市民が誇れるねふた祭りにして欲しい(自己満足ではなく、美しい祭りを診てもらおうという意識)
音楽あふれるまち	津軽には残したい音がたくさんありますが、受け継ぐ子供が少ないので、後継者を育てたい		
B グループ	子育て家庭に優しいまち	子供が住みやすく育てやすいまち 結婚したいという意識と子供が欲しいという意識を高められたらいい 子育て支援が充実したまち 親の負担を軽減し、少子化を防ぎたい 若い人が住みたくなる魅力あるまち 子育てしやすい環境づくりができる	
	誰もが気軽にスポーツに親しめ、いつまでも健康でいられるまち	長寿のまち 短命県を返上し健康な長寿社会 誰もが気軽にスポーツ・運動に親しめるまち 短命県なので、楽しく運動して、健康になってもらいたい	
	セーフティーネットの整ったまち	高齢者が健康で生き生きしたまち 老健施設等の集合化と幼稚園・学校の併設 セーフティーネットの整ったまち どのような人生でももれることのない社会のシステムを構築してもらいたい	
	C グループ	スローなまち	スローライフなまち ゆったりできるまち(癒し) 例えば温泉がある環境
		歴史と伝統を受け継ぎ、新しい価値を創造するまち	歴史や伝統を尊重し市民文化が創造されるまち いざというとき(災害・復興・発展)ふるさとの祭り、文化が市民に元気と勇気を与える 伝統・文化を受け継がれ、歴史的に価値あるまち 新しい文化に流されずに、守るべきものは守って行きたい
D グループ	出会いと交流のまち	交流・文化が盛んなまち パソコンありきなデジタル的ではなく、人と人が会って話をできるアナログ文化を残したい 出会いの多いまち 婚活~異業種間の交流	
	ゆとりある中で子育てができるまち	若い人が時間にゆとりがあるまち 子育てについて、会話、家族全体でも不足がちのようで	
	地域の中で互いに助け合えるまち	市民同士助けあっていくまち 家庭での子育てに協力したり、高齢者が生活しやすくしていく 地域力があるまち 地域コミュニティを充実させ、行政と協力してそれぞれの地域から発信できるまち	
	生涯を通じて、明るく健康でいられるまち	ひとり暮らしでも安心して生活できるまち 大半を占めるだろう、仕事を持たない人が医療・介護・雪対策に不安を持ってはいけない 明るく元気で楽しいまち ・小学校の通学時の「挨拶、元気ですよ」 私達も見習いたいと思います ・子どもとお年寄り、楽しいコミュニケーションの工夫で全てが良い方向に回るといいな	
	独立都市”弘前”(日本のモデルになるまち)	弘前で死にたいなあと思えるまち 高齢者がご機嫌だと若者も楽 同じりんごを主要農産物とする長野県は男性長寿日本一なのに、青森は短命日本一となっている。運動や食事など様々な面から、健康で長生きできるようにするためにはどうすればいいのか研究する必要があるのではないか 税金が高くても総合的に暮らしやすいまち(ヨーロッパの様に)	



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「なりわい」

将来都市像		理由・背景
A グループ	付加価値の高い産業を促進するまち	6次産業を促進する TPPに負けない農業が元気なまち
	滞在型観光で観光資源を活かすまち	合併を活かし、通過型→滞在型観光に切り替えたまち 観光資源を活かすまち
B グループ	多様な働き方ができるまち	大学生、高齢者、失業者などが働ける場を作れるまち 死ぬまで働くも可能か、あまりギスギスしない生き方のあるまち
	あたらしい農業のまち	農業に興味がある人を呼び込めるまち 農業のイメージを新しく明るく発信できる 農業と観光を主軸としたなりわいのまち 津軽商圏の主役となるまち 伝統工芸とりんごのまち
	秋冬でも観光客が集まるまち	脱りんご依存のまち 秋冬でも観光客が集まるまち
	地域産業の豊かなまち	地域の産業を興し、地域に活力を与え働く喜びを持てるまち
	一次産業と伝統文化で発展できるまち	第一次産業と伝統文化で発展できるまち
C グループ	観光でワイワイするまち	観光客でワイワイするまち
	恵まれた資源を活かした強い農業のまち	農業を基盤とした産業が中心のまち りんご・桜・自然環境にもこだわったまち
	シャッターが閉まった店の無いまち	産業に活力のあるまち りんごにこだわり過ぎないまち
D グループ	シャッターが閉まった店の無いまち	シャッターが閉まった店の無いまち



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「まち」

		将来都市像	理由・背景
A グループ	自然に配慮した美しいまち	エコで楽しい 自然と景観に配慮したまち	自転車やバスなどを使用し、まちをゆっくり見て楽しみや面白さを発見してほしい 弘前らしさを残し周りの自然と共存
	駐車場の不便を感じないまち	駐車場の不便を感じないまち	・ねふた祭りでは桜まつり同様国道や広い駐車場からのバスを運行して貰いたい ・素晴らしい名所が数多くありますが、標識が少なく、駐車場がわかりづらいと思います。 ・実際ねふた祭りの時、他県からの車が駐車場に困っているのを見ました
	災害に強いまち	災害に強いまち	・先月と昨日の大雨では、道路と側溝の雨水が泥水となり流れ込み、職場や近隣で浸水しました。早く対策をとってほしい ・台風・竜巻などの自然災害にも早い対策が必要
B グループ	自然と伝統が共生するまち	緑を大切に自然豊かなまち 自然と共有できる 農業と観光のまち	景観を大切に、地球温暖化対策に取り組む 白神山地や岩木山自然を大切に利用する 大自然を活かした日本の故郷・癒しの故郷
	弘前にしかない魅力が発揮されるまち	街に自然とレトロと近代化が融合したま 各地区の特色を出し、巡る 素朴なまち オンリーワンのまち	訪れて楽しい暮らして楽しい健康なまち アップロード他 利用して巡ってもらう。各地区の特色を出す。旧市内城下町、岩木湯元リゾート他 弘前にしか無いもの、弘前らしいもの
	様々な情報が共有され、コミュニケーションが活発に行われるまち	国際・国内問わず観光・文化・交流を差別なくするまち 市全体が情報共有できるまち 地域コミュニケーションが活性化したまち	津軽の文化・文明を皆で学び共有し継承し、人類歴史の遺産として守れば イベントなどの色々な情報が市全体に分り易く周知されている 地域自治が活性化しお互いに助け合う
	歩行者に優しいまち	ドライバーのマナーが良いまち	歩行者を第一に考え優しい運転をする
	持続可能な環境のまち	持続可能な環境のまち	
	雪に強いまち	雪対策がよいまち	冬場の除雪がもっとよくなるものか
	緑を活かしたまち	緑を大切に、地球温暖化対策に取り組むまち 美しい自然と安全な食が守られるまち	異常気象が続き、災害を起こし、地域の産業に悪影響を及ぼすようになっている。弘前市から全国へ、全国から世界へ… 福島のように見えない汚染物質におびえて暮らすのはいやだな
C グループ	歴史と伝統のまち	自然と歴史と歩むまち 歴情的情緒豊かなまち	開発だけではなく維持 残すべき景観区域を見極めその周辺の風土を残すべき
	一度は訪れたいまち	近代文化と伝統文化が融合するまち 誰もが一度は訪れたいまち	歴史文化と近代文化を共に発展・共存できてほしい 観光・生活(住む)どんな視点からでも弘前のいいところがそのまま残って欲しい
	雪と共存できるまち	雪と共存できるまち	雪は毎年の自然現象なので市民一人ひとりが除雪に関わりやすくするシステムがあるといいなあ
		市街地道路のロードヒーティング、郊外も完璧な除雪	



弘前市が20年後に目指すべき将来のまちの姿(将来都市像)

分野「まち」

将来都市像		理由・背景
D グ ル ー プ	ユニバーサルデザインのまち	ユニバーサルデザインのまち 障害者・児に優しいまちとは、全ての市民に優しいまち
	歴史・伝統・文化と住みやすさが共存するまち (偉大な二枚看板)	景観を重視したまち 歴史的建築物が多く残る町なので景観に配慮したまちづくりを進めて欲しい
		歴史・伝統・文化を大切にするまち 青森県内の他都市との役割を考えた時の弘前らしさ
	様々な人々が行交い、語り合う場があるまち	市民が思っているほど、弘前は田舎ではない。若者に訴求する都市的な魅力もある程度確保しつつ、ほかの地域にはない歴史や伝統といった弘前らしさを活かす、その2つを両立させる方向性が望ましいのではないか
		人によって異なるので、自ら足を運んで語れる場(まち) もっと分かり易い、歩き易い
	暮らしのための「足」があるまち	色分けがはっきりしたまち 駅ビル、ヒロロ、シティ、諸々店にあれば
		車が無くても生活できるまち 私バス・私鉄と共存できないか
	雪に強いまち	環境に優しいまち 観光、通勤、通学等車に頼らない町になれば
		住み良いまち 交通アクセス、高齢者、冬でも過ごしやすい
	コンパクトな町会がまとまり集うまち	雪対策(本業の雪困)道路、家、建物の初動から計画ありきのまち 最近の雪の多さとともに老いが進んでいることで実感します
冬に強い(自然エネルギー(風・雨・水・雪)を生活エネルギーにできる) 除雪、融雪溝以外の冬対策モデルのまち		
	コンパクトな町会がまとまり集うまち 年齢層に差があり、階級的な部分が見える	



## 分野「ひと」

- 自立心、志ある人材の育成
- 郷土愛、歴史・伝統・文化
- 学園都市、子どもたちの育成、教育
- 助け合い、連携
- 多世代の活躍、元気・思いやり



## 分野「くらし」

- 充実した子育て支援
- 健康・元気・長寿
- 安全・安心
- 独自のライフスタイル・まち
- 出合い・交流・助け合い
- 豊かな歴史・伝統・文化



## 分野「なりわい」

- 付加価値の高い産業（農業）
- 活性化、人の呼び込み
- 観光
- 多様な働き方



## 分野「まち」

- 弘前にしかない魅力・歴史・伝統
- コミュニケーション・交流の場
- 自然との共生
- 災害（特に雪）に強いまち
- 交通弱者への配慮